

かけはし

一小だより

No. 6 24・8・22

「感動をありがとう」で終わらない

校長 大村 亨夫

残暑厳しい中、2学期が始まりました。始業式のために体育館に集合した子ども達は朝から汗だくになり、元気いっぱい。成長するエネルギーが頭から出る湯気となっていました。

私は、ロンドンオリンピックに触れながら「2学期も、しっかりとした目標を持って生活しよう」と呼びかけました。

先頃閉幕したロンドンオリンピックは、選手達の笑顔と涙から多くの感動が伝わってきました。作りものでないスポーツのドラマは、勝者と敗者の真剣勝負から生まれます。全力で競うからこそあふれ出るうれし涙、悔し涙。そのどちらも美しく感じたのは、私だけではないでしょう。

選手達は、何故全力を出すことができるのか。それは、勝ちたいという明確な意識や記録を短縮するという目標があるからだと思います。例えば、卓球の福原愛さんの場合。20年前から天才少女と呼ばれていた「愛ちゃん」は卓球一筋の人生を送りながら、これまでメダルに届きませんでした。やがて、石川佳純という年下のライバルが現れ、追い抜かれてしまいます。自分の課題は何か。何が弱いのか。弱点は意外なところがありました。運動能力のテストを受けたところ、走力と筋力が一般女性の平均以下だったのです。ここから愛ちゃんは変わります。坂での走り込みを始め、偏食だった食生活を改めたのです。結果、従来より「5センチ」右へ動けるようになり、力強さを増したのだそうです。卓球女子団体に銀メダル獲得の原動力となった福

原愛。記者から「20年でようやくたどり着いたメダルですね。」と問われ、涙で言葉が出ませんでした。

目標があれば人はがんばります。課題がはっきりすれば、解決のために努力もします。2学期は、なりたい自分をイメージして、すべきことに全力を出す。そんな子ども達にしたいものです。一生懸命な人を見て「感動をありがとう」と受け身になるのではなく、自分が《一生懸命な人になる》こと。何故なら感動をつくる側に立つほうが、喜びは数倍であり「生きていく力」になっていくはずだと思われるからです。

2学期は、水泳大会や運動会、そしてマラソン大会があります。一っ子フェスティバルも控えています。これらの行事を通して、がんばることの大切さや協力の精神を感じて欲しいものです。ロンドンでなくとも心の中に、オリンピックはつくれるはずですよ。身近なプールやグラウンドで、オリンピック選手と同じようなうれし涙や、悔し涙が流せるように。そのための全力、そのための練習だと思えます。

子ども達の歓声が、秋の高い空まで元気よく届く2学期になることを期待しています。



学校のまど ~子ども達のがんばり~ ゆりの幸せ♡ 配達人 でみんなをハッピーに



どのユリにしようかな



きちんとそろえて丁寧にラッピングします



気をつけて行ってきま〜す！

ユリを届けるときはドキドキです。しっかり練習してから気持ちを込めて渡します。

「ありがとう」と喜んでもらえる、これまでの大変さもふきとびます。



「家族の絆」エッセイ

- 最優秀賞 5年 女子
- 優秀賞 5年 男子、 5年 女子
- 入選 5年 男子、 5年 女子

第34回西置賜地区学童水泳記録会

- 女子200mメドレーリレー 第3位
6年女子3名、4年女子1名
- 5~6年女子200m個人メドレー 第2位 6年 女子
- 5~6年女子50m平泳ぎ 第3位 6年 女子
- 3~4年女子50m背泳ぎ(タイム選考県大会出場) 4年 女子

第15回県ジュニア駅伝競走大会出場

- 6年 男子2名
(町の代表として健闘しました。)

9月の主な予定

- 1日(土) PTA 早朝作業 (めざましの里祭)
- 3日(月) いのちの日
- 8日(土) 運動会 東北・県P研
- 9日(日) 運動会予備日 東北・県P研
- 10日(月) 振替休業日
- 14日(金) 職員会議
- 15日(土) 3年部会行事 ほほえみハーブティー
- 17日(月) 敬老の日
- 18日(火) PTA 研修会
- 20日(木) 4年社会科見学
- 21日(金) 5・6年 町陸上大会
- 22日(土) 秋分の日 ほほえみ読み聞かせ
- 25日(火) 町陸上大会予備日
- 26日(水) スポーツテスト
- 27日(木) 廊下ワックス塗り
- 28日(金) 廊下ワックス塗り
- 29日(土) ほほえみ焼き芋